

キャラクター名
甲 俊哉 (かぶと しゅんや)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ウロボロス		ワークス	風紀委員C	カヴァー	高校生
	オプショナル		年齢	16	性別	男
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	42 %	
出自	犯罪者の子	経験	心の傷	邂逅	ビジネス	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1		0			1	行動値	4
感覚	1		0			1	(非装備時)	6
精神	5	1	0			6	戦闘移動	11
社会	1		0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	7		RC	1		交渉		
回避			知覚	5		意志	7		調達	4	
運転:			芸術:			知識:UGN	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:アカデミア	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
影の武具:光の銃(~99%)	射撃	6r+7	-	2		
影の武具:光の銃(100~159%)	射撃	6r+7		3		
ジュラルミンシールド	白兵	1r	6	2		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
※リアクティブコート	24	6	-	-2	HPダメージ適用直前に使用。HPダメージを3D点軽減。その後この防具は破壊される。

所持品	
ウェポンケース	
ランクA:スペシャリスト	
文殿寮特務証書	
ラッキーメダル:ブラック	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
守護者	P	N		
父親	P 懐旧	N 憎悪		
プロジェクト・アダムカドモン	P 好奇心	N 侮蔑		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

合計装甲: 6 合計回避: 0

最大財産P: 10 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト(ノイマン)	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値 -Lv(加減値7)							
コンバットシステム	3	3	メジャー/リア	-	-	対決	-	
効果:	〈射撃〉のダイス+[Lv+1]個							
コントロールソート	1	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	〈射撃〉判定を【精神】で行う							
カウンター	2	4	リアクション	武器	単体	対決	80%	
効果:	メジャーエフェクトと組み合わせ可。対決に勝利した側の攻撃が命中する							
チェンジ	1	3	オート	至近	単体	自動	100%	
効果:	「対象:単体」の攻撃判定の直後に使用。対象を自分に移す							
原初の紫:ミスディレクション	2	6	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	範囲または範囲(選択)を単体に変更。侵食値+1(計算済)、基礎侵食値+4							
エクスマキナ	3	4	メジャー/リア	-	-	対決	リミット	
効果:	達成値+10。コンバットシステムと組み合わせる							
影の武具:光の銃	1	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	武器作成。攻撃力[Lv +2]-1							
生き字引	1	1	メジャー	至近	自身	-	-	
効果:	〈情報:〉を〈意志〉で判定、ダイス+LV個							
虚構のナイフ	3		メジャー					
効果:								
ブラックマーケット	3		常時					
効果:	常備化点+ [LV×10]。侵食率基本値+2							
完全演技	★							
効果:								
プロファイリング	★							
効果:								

甲俊哉の所見(〇〇について)

(オーヴァード)
オーヴァードは『人間』である。確かに特出した能力を持っているが、それを理由に社会から排斥されるのはおかしい。力の行使が法と倫理に基づいて行われているのならば、咎められる必要はない。逆に罪を犯したのであれば、法に則って裁かれるべきであり、「一般人とオーヴァード」は区別されるべきではない。

(UGN)
オーヴァードの存在を秘匿しようとするUGNの姿勢は気に入らない。俊哉の理想は「オーヴァードの存在の周知」であり、その点ではUGNの理念と全く噛みあわない。一方で、FH所属オーヴァード等によるテロ行為に対抗する組織としての、UGNの存在意義は大きい。両親がUGN職員だったこともあり、母の古巣であるUGNと敵対することに抵抗を感じているため、離反には躊躇している。また、父が関与したプロジェクトアダムカドモンの情報を収集するためにも、UGNに所属に所属しておくのは意味があると考えている。

(チルドレン)
レネゲイド災害で孤児となった少年オーヴァードを保護する。なるほど、立派な理念だ。だが実態は、少年兵を作ってFHとの対立に巻き込んでいるに過ぎないではないか。オーヴァードに生まれついた、あるいはそうなったという理由で、少年少女の夢や自由を奪うチルドレンという仕組みの在り方は唾棄すべき存在だ。

